２０２６年１月２６日（毎月１回刊／第４月曜日発行）　建交労とうきょう　（昭和５３年９月２２日第三種郵便物認可）　第１１０５号

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
（メール）tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交運一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館７階
電話 03（3820）8644（代）
fax 03（3820）8646
編集発行人　松田　隆浩
１部１５円組合費に含まれる（〒６０円）

26春闘勝利　東京都本部2026年新春旗びらき開催

あたらしい年を　働く人が豊に　幸多き1年
になるように　私たちの団結で各職場
の要求前進と26春闘勝利を目指して

あけましておめでとうございます。２０２６年がスタートしました。新年早々に飛び込んで来たニュース、アメリカトランプ政権によるベネズエラ侵攻は、米国が多くの国から批判を受けると共に、高市首相はなぜ批判をしないのか、という日本の同盟国としての在り方が問われる事態に至っています。今年は、平和を願う労働組合の仲間の団結で政治闘争への取り組み、そして、物価高騰を上回る大幅賃上げを獲得し、働く人が豊に、幸せになる社会をみんなで実現しようではありませんか。１月１０日（土）の旗びらきには組織内外から多くの仲間が参加し、２６春闘勝利に向けた士気を高め合いました。石塚委員長代行の主催者挨拶に続き、東京地評井澤智事務局長、顧問弁護士の笹山尚人弁護士（東京法律事務所）、前衆議院議員宮本徹さん、日本共産党田中とも子都議会議員、建設政策研究所市村昌利専務理事、建設首都圏共闘会議上間正央事務局長、首都圏交運共闘会議林悦夫事務局長、建交労中央本部福富保名書記次長にご挨拶頂きました。お忙しい中ありがとうございました。建設・関連部会の仲間が集う「わりかん歌う会」が今年もオープニングやフィナーレを盛り上げ、三多摩支部八王子学童保育分会の小池享子さんと清水裕美さんによるフラダンスパフォーマンスで会場全体があたたかい雰囲気に包まれ、気分は常夏ハワイに！お楽しみ福引抽選会で景品を獲得されたみなさん、おめでとうございます。神田支部上村執行委員長をはじめ準備にご協力頂いた仲間のみなさんありがとうございました。２月８日（日）１３時～第３１回東京都本部委員会を東京トラック健保会館（平蔵門駅・市ヶ谷駅）にて開催いたします。是非多くのご参加を！

【書記長　笹原　和樹】

ラパスホールにて「26春闘勝利を目指して団結頑張ろう！」

八王子学童保育分会小池享子さん（写真左）と清水裕美さん（写真右）

福引抽選会1等松阪牛北部支部池袋分会大塚さん（写真左）石塚委員長代行（写真右）

首都圏運輸基本集団交渉団 26春闘討論集会開催

1月11日（月）建交労首都圏運輸基本集団交渉団（神田支部、中央通運支部、豊島運送支部、京橋運送分会、浅井分会、中央運輸統合分会、日生流通支部、埼玉合同支部教宣文化社分会、埼玉合同支部堀切運輸分会）は、２６春闘に向けて、集交団としての統一要求や行動などを確認・検討する春闘討論集会を開催しました。冒頭に上村団長（神田支部執行委員長）の挨拶と中央本部鈴木正明書記次長が「建交労２０２６年春闘と適正化２法、過労死認定のたたかい」と題して学習会を行いました。鈴木洋平事務局長（教宣文化社分会書記長）から、２５春闘の到達点と２６春闘方針（案）として、賃上げは一人４９０００円を求める、定年制を６５歳とする、全労働者の勤務間インターバルを１１時間とする、現行退職金基準の１０％引き上げるなど、要求内容が提起されました。最終の統一要求書は２月１日（日）の建交労中央委員会を経て決定されます。また「２６春闘勝利を目指すための５つの取り組みに全力を挙げる」として、①要求の根拠となる春闘アンケートを全組合員参加で集約する。②２月２日（月）の中央労使共同行動は労使が一体となり業界改善を要請する。③３月５日（木）の建交労中央行動は春闘での要求実現と業界改善をめざし、省庁交渉と議員要請へ積極的に参加する。④３月に開催する首都圏トラックパレードは、トラック職場における春闘と国民的要求をスローガンに掲げ世論にアピールするため全職場からトラックを出す。⑤４月３日（金）全国トラック部会統一行動設定日は東京・埼玉トラック部会で議論し組織拡大やトラック情勢アピールなど積極的に取り組む。など集交団としての行動が提起されました。各職場から出された退職金制度の改正や定年延長、福利厚生の拡充などの個別課題を共有し、それぞれの企業交渉に生かします。２６春闘勝利に向け奮闘します！

【集交団 団長　上村　誠】

中央本部鈴木書記次長（全国トラック部会事務局長）による学習会

2026春闘勝利！賃上げ交渉しよう！
全労連・国民春闘共闘・東京春闘共闘　新春宣伝行動

１月６日（火）全労連・国民春闘共闘や東京地評・東京春闘共闘に結集する労働組合は、都内で一斉宣伝行動を展開しました。２０２６年は、米国トランプ政権がベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領とその妻の身柄を拘束するという、平和とは程遠い幕開けとなりました。新宿駅南口では東京地評井澤智事務局長などが第一声で「日本に置き換えれば高市首相が突然他の国に拉致されたようなものだ。いかなる事情を考慮しようとも、他国への一方的な武力侵攻などあってはならない。平和を願う労働組合の立場から断固批判する」と厳しく批判しました。

建交労からは中央本部、建築設計支部いしずえ分会、神田支部、鉄道東京、都本部の仲間が駆け付け、福富保名中央書記次長が物価高騰について訴えました。「スーパーなどで買い物をする度に会計金額の高さに驚く。物価高騰以上の賃上げが急務であり、労働組合に加盟して一緒に要求を前進させましょう」と呼びかけました。２０２６年春闘では、各職場・地域において労働時間の短縮と、大幅賃上げの実現が強く求められます。職場では非組合の働く仲間にアンケートを広げ働く方の全体の声として要求に反映させましょう！

JR新宿駅南口に集まった組合の仲間が「賃上げ交渉をしよう！」と書かれたティッシュビラを配布しました

利益は労働者の賃金に廻せ
国民春闘共闘　経団連包囲

１月１４日（水）全労連・国民春闘共闘や東京地評・東京春闘共闘は、２０２６年春闘勝利を目指し、厚労省前宣伝、経団連包囲行動を開催しました。全労連の秋山議長は経団連前で「毎年この場所で大幅賃上げの声を挙げている。加えて残業時間短縮、そして、軍需産業で経済活性化をはかってはならないと訴えたい。労働分配率が下がる一方、大手の内部留保は積み増しされ、株主配当も増額、労働者の犠牲の上に成り立っている。実質賃金はマイナスが続き、住宅ローンを抱える世代には金利上昇が直撃、最賃ぎりぎりで働く非正規労働者の生活改善が必要。全国一律最賃の引き上げを求める。経団連は我々との意見交換の場を設けるべきだ」と訴えました。

首都圏青年ユニオン吉田事務局長は「株価が上がるのは結構だが働く者の賃金が上がっていない事が問題だ。会社は『賃上げのための原資がない』と言うが、株主配当増配や海外への進出をすすめており、原資が無いなど言い訳だ。利益は労働者が働いて生み出したもの。経団連は責任を果たせ」と訴えました。その他、ＪＭＩＴＵ、東京土建、全印総連の仲間が決意表明しています。

２０２６春闘は発注者や顧客に対し堂々と契約額の増額を訴える、その基盤を労働組合の要求提出からつくろうではありませんか。

経団連前に400名が集まりました
建交労からは鉄道東京の仲間等が結集しました

都本部主催　東京建設・関連部会　中野駅前北口広場宣伝

「職場の悩みは一人でかかえず労働組合に相談しましょう！」東京建設・関連部会は、都本部主催の宣伝行動を中野駅北口広場で開催し、ティッシュビラ２５０枚を配布しました。マンション管理業界についてダイワードユニオン分会の畠中博資さんは「マンション管理は、マンションの修繕状態の確認や管理組合組織の運営、大規模修繕工事やペット飼育等の専門委員会の設置と運営など、居住上の問題解決に向けたあらゆるサービスが求められる。しかしサービス業であるマンション管理業は労働集約型産業であり、管理棟数が増えても利益はさほど増大せず、競争力強化のため賃金の抑制、サービス残業、長時間労働が常態化する傾向にある。成果主義の賃金制度が導入され、適正な評価が行われない会社も少なくない。労働組合をつくり一緒に業界を改善しよう」と訴えました。また、建築士の低賃金や長時間労働について建築設計支部いしずえ分会の伏谷政幸委員長は「建物を設計・監理する建築士は施主の予算を守り希望を実現し景観や資源も守る重要な役割を果たしている。適正な業務報酬実現のため組合に加盟して業界を改善しよう」と訴えました。

建築設計支部いしずえ分会の六神要さんによる三線の演奏と、フィナーレに自民党裏金問題を批判した「裏金賛歌」を合唱して中野駅利用客に「一緒に社会を変えよう！」と呼びかけました。【東京建設・関連部会　事務局長　笹原　和樹】

中野前北口広場で開催しました
仕事帰りの多くの駅利用者が行き来します

東京建設・関連部会第27回定期総会
～全国建設・関連部会と連携して業界改善を～

１１月１２日（水）東京建設・関連部会は第２７回定期総会をリモート併用で開催しました。今年は、建築士の業務報酬適正化に向けた取り組みの一環で、建築設計支部いしずえ分会の仲間と部会が協力してはたらくみんなの要求アンケートを新建築家技術者集団の仲間の事務所に直接訪問して協力依頼をするなど、組織拡大に向けて大切な一歩を踏み出すことが出来ました。また、全国建設・関連部会が京都で開催した第６回建築設計交流集会では、参加者から、要求を精査して要請行動に発展すべきという声や、業界団体と懇談して一致した要求で運動を広めるべきという、現状報告から踏み込んだ発言がありました。今後東京と全国が連携して取り組みを強化する事を確認しました。【東京建設・関連部会　事務局長　笹原　和樹】

東京都本部7階会議室でリモート併用で開催しました

組合掲示板

- ■1月28日（水）１９時～２６国民春闘総決起集会／なかのゼロホール（中野駅）
- ■1月31日（土）１３時半～2月1日（日）第２７回建交労中央委員会／浅草・台東区民会館
- ■2月　8日（日）１３時～第３１回東京都本部委員会／東京トラック健保会館（半蔵門駅・市ヶ谷駅）
- ■3月　5日（木）１０時～建交労中央行動／ビジョンセンター赤坂・会議室